

授業科目名	臨床英語 (English for Clinical Purposes)	担当教員	教授 福田 誠司
開講年次・学期	医学科1-6年、看護学科1-4年・ 通年	必修/選択	自由
開講形態	演習	時間数/単位数	医学科・看護学科 20時間 0.5単位
学習目標			
<p>本科目は医学英文の読解や英語によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて、臨床に必要な英語力の向上を目指します。</p> <p>*本科目は医学部の英語教育高度化プログラム「Advanced English Skills Course」の対象科目です。在学中に本コースの科目群から合計120時間（看護学科3単位）以上履修した学生には修了認定証（Certificate for Advanced English Skills）が授与されます。</p>			
ディプロマポリシーとの関連			
<p><医学科> 4. 医療に必要なコミュニケーション能力を身につけ、患者やその家族と良好な人間関係を築くことができる。 12. 海外の医療や異文化を理解し、グローバルな視点で物事を判断し行動することができる。</p> <p><看護学科> 1. 豊かな人間性と高い倫理観を備え、人間、健康、社会・文化に対する深い理解と見識に基づいた看護を提供することができる。 6. 社会における保健・医療・福祉の充実と発展に貢献するために、広い国際的視野をもつことができる。</p>			
学修成果（到達目標）			
<p>1) 臨床、基礎医学に関する科学的・医学的事項に関して英語で発表、プレゼンすることができる 2) 英語で質疑応答することができる 3) 英語で記載された症例報告や研究論文を理解し、他者へ口頭で伝えることができる</p>			
キーワード			
英語コミュニケーションスキル、専門（医学・看護）英語			
授業の進め方			
<p>主な対象は4年生以上としますが1-3年生についても受講できます。授業は学生が中心の英語によるプレゼンテーションとディスカッションをメインに進めます。海外からの留学生に参加してもらっても配慮し国際的に通用する英語の基礎をトレーニングします。通年木曜日に実施し、初回以降は教員と受講者で相談して決定します。今年度はonline (LIVE)</p>			
評価方法			
<p>授業への取り組み（授業の準備、出席、討論への参加など）50% レポートもしくは課題発表 50%</p>			
合否基準			
総合点100点とし、60点以上を合格とする。			
教科書・参考書			
<p>参考文献 New England Journal of MedicineのCase Report 100 cases in Clinical Medicine</p>			
オフィスアワー			
授業日の放課後			
コア・カリとの関連			
<p><医学科> A-4-1) コミュニケーション ① コミュニケーションの方法と技能（言語的と非言語的）を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。 ② コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ③ 患者・家族の話を傾聴し、共感することができる。 A-7-2) 国際医療への貢献 ① 患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ② 地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 ③ 保健、医療に関する国際的課題を理解し、説明できる。 ④ 日本の医療の特徴を理解し、国際社会への貢献の意義を理解している。 ⑤ 医療に関わる国際協力の重要性を理解し、仕組みを説明できる。</p> <p><看護学科> A-4-1) コミュニケーションと支援における相互の関係性 ① 看護において、コミュニケーションが人々との相互の関に影響することを理解できる。 ② 人々との相互の関係を成立させるために必要とされるコミュニケーション技法について説明できる。 ③ 自分の傾向がわかり、自分の課題を意識しながらコミュニケーションをとることができる。 A-7-3) 国際社会・多様な文化における看護職の役割 ① 国際社会における保健・医療・福祉の現状と課題について理解できる。 ② 多様な文化背景をもつ人々の生活の支援に必要な能力を理解できる。 ③ 国際社会における健康課題と戦略を理解し、今後の看護職に求められる役割や責任について考察できる。</p>			